

# 令和 6 年度（2024年度）認証評価制度実施事業委託業務落札者決定基準

令和 6 年（2024年） 3 月 7 日  
北海道保健福祉部福祉局高齢者保健福祉課

## 1 落札者決定基準の位置付け

この落札者決定基準は、北海道が実施する令和 6 年度（2024年度）認証評価制度実施事業委託業務（以下「業務」という。）の総合評価競争入札に係る申込みをした者のうち、価格その他の条件が最も有利なものを決定するための基準を示すものである。

## 2 総合評価による落札者の決定方法

入札書に記載された業務の入札価格が予定価格の制限の範囲内にある者のうち、あらかじめ企画提案書の評価を行い算出した入札価格以外の要素に係る評価点（以下「技術評価点」という。）と入札価格に係る評価点（以下「価格評価点」という。）を合計して得た数値が最も高い入札者（以下「最も有利な入札者」という。）を落札者とする。

この場合において、最も有利な入札者が 2 人以上あるときは、当該入札者にくじを引かせて落札者を決定する。なお、当該入札者のうち出席しない者又はくじを引かない者があるときは、入札執行事務に関係ない職員に、これに代わってくじを引かせ落札者を決定する。

## 3 価格評価点

価格評価点は、入札価格を予定価格で除して得た値を 1 から減じて得た値に、価格評価点の配分得点を乗じて得た数値（小数点第 3 位を四捨五入し、小数点第 2 位止めとする。）とする。

$$\text{価格評価点} = (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格}) \times \text{価格評価点の配分得点}$$

## 4 技術評価点

技術評価点は、「令和 6 年度（2024年度）認証評価制度実施事業委託業務評価項目、評価基準及び配点」（以下「評価基準」という。）に基づき、評価基準に記載する評価項目毎に、5 に定めるところにより評価を行い、各評価項目の得点を合計して得た数値とする。

## 5 技術評価点の評価方法

(1) 1 次評価（書面審査）においては、評価基準に記載する必須の評価項目が要求水準を満たしているか否かを判定し、これを満たしているものには評価基準に基づき基礎点を与え、1 項目でも要求水準を満たしていない場合、その時点で失格とする。

2 次評価（プレゼンテーション）においては、更に優れた提案が行われたと判定する場合に、その提案内容に応じて、評価基準に示す点数の範囲内で加点する。

(2) 上記（1）の評価は、道が開催した令和 6 年度（2024年度）認証評価制度実施事業委託業務契約に係る総合評価審査会において審査する。

## 6 価格評価点と技術評価点の配分得点

価格評価点と技術評価点の配分得点は次のとおりとする。

なお、価格評価点と技術評価点の配分については、入札者の提案内容によって当該業務の成果に大きく影響を受けることから、技術評価点を重視するとともに、厳しい道財政を踏まえ、価格評価点についても重視する必要があることから、次のとおりとする。

$$\text{価格評価点} : \text{技術評価点} = 1 : 3$$

| 区分 | 価格評価点の配分得点 | 技術評価点の配分得点                     | 合計   |
|----|------------|--------------------------------|------|
| 配点 | 50点        | 150点<br>うち基礎点 100点<br>うち加点 50点 | 200点 |

令和6年度（2024年度）認証評価制度実施事業委託業務  
評価項目、評価基準及び配点

| 評価項目  |  | 評価<br>区分 | 基礎点 | 加点<br>上限 | 合計  |
|---|--|----------|-----|----------|-----|
| 1 業務遂行能力  |  |          | 10  | 30       | 40  |
| 業務処理体制が具体的に示されているか。   |  | 必須       | 10  |          | 10  |
| 介護事業者における人材育成や就労環境の改善に精通している等、制度の運営に当たって必要とされる知識・経歴を有しており、本事業の趣旨に沿った効果的な業務を遂行することが期待できるか。   |  | 加点       |     | 20       | 20  |
| 業務処理スケジュールが具体的に記入されており、本事業を適切に遂行できるものとなっているか。   |  | 加点       |     | 10       | 10  |
| 2 企画提案  |  |          | 90  | 20       | 110 |
| ①運営委員会の運営・開催  |  |          |     |          |     |
| 運営委員会の役割を理解し、適切に運営することができるか。  |  | 必須       | 10  |          | 10  |
| ②制度の普及啓発及びエントリー事業者の募集   |  |          |     |          |     |
| 普及啓発資料として作成するリーフレットや動画等の内容は、本制度に興味を持ち、理解しやすい内容となっているか。  |  | 必須       | 20  |          | 20  |
| 周知方法は、より広く効果的に周知を図ることができるものとなっているか。   |  | 加点       |     | 20       | 20  |
| ③エントリー及び認証申請の受付   |  |          |     |          |     |
| エントリー及び認証申請に係る事業者からの相談を適切に受付できる体制となっているか。   |  | 必須       | 10  |          | 10  |
| ④認証申請に向けた取組への支援   |  |          |     |          |     |
| 制度説明会は、制度の概要、評価項目、書類調製方法、支援内容、審査方法等の理解促進を図るわかりやすい内容となっているか。   |  | 必須       | 10  |          | 10  |
| 個別相談対応は、事業者から認証基準達成に係る相談を電話で受付できる体制となっているか。<br>また、窓口の開設時間は適切か。  |  | 必須       | 10  |          |     |
| セミナーは、北海道働きやすい介護の職場認証制度審査基準書の審査項目ごとに、認証基準達成に必要な制度構築・運用について適切に実施できる内容となっているか。  |  | 必須       | 10  |          |     |
| 制度説明会、個別相談対応及びセミナーによる認証基準到達が難しいと認められる事業者は、個別に不足項目に対する充足方法の指導や継続的な運用方法、書類調製方法等のコンサルティングを実施することとしているが、個別コンサルティングが適切に実施できる体制となっているか。 |  | 必須       | 10  |          | 10  |
| ⑤審査について   |  |          |     |          |     |
| (審査方法がオンラインの場合)<br>認証取得のための審査を希望する事業者から申請があった時は、書類審査を行うとともに、オンライン方式にてヒアリング審査を行うこととしているが、適切に審査できる体制となっているか。                        |  | 必須       | 10  |          | 10  |
| (審査方法がオンラインではない場合)<br>認証取得のための審査を希望する事業者から申請があった時は、書類審査を行うとともに、オンライン方式にてヒアリング審査を行うこととしているが、オンラインでの実施が難しい場合は、適切に審査できる体制となっているか。    |  |          |     |          |     |
| 合 計   |  |          | 100 | 50       | 150 |

- ・ 10点満点の加点項目については、大変良いものは10点、良いものは8点、普通のものは5点、やや劣るものは3点、劣るものは0点とする。
- ・ 20点満点の加点項目については、大変良いものは20点、良いものは15点、普通のものは10点、やや劣るものは5点、劣るものは0点とする。